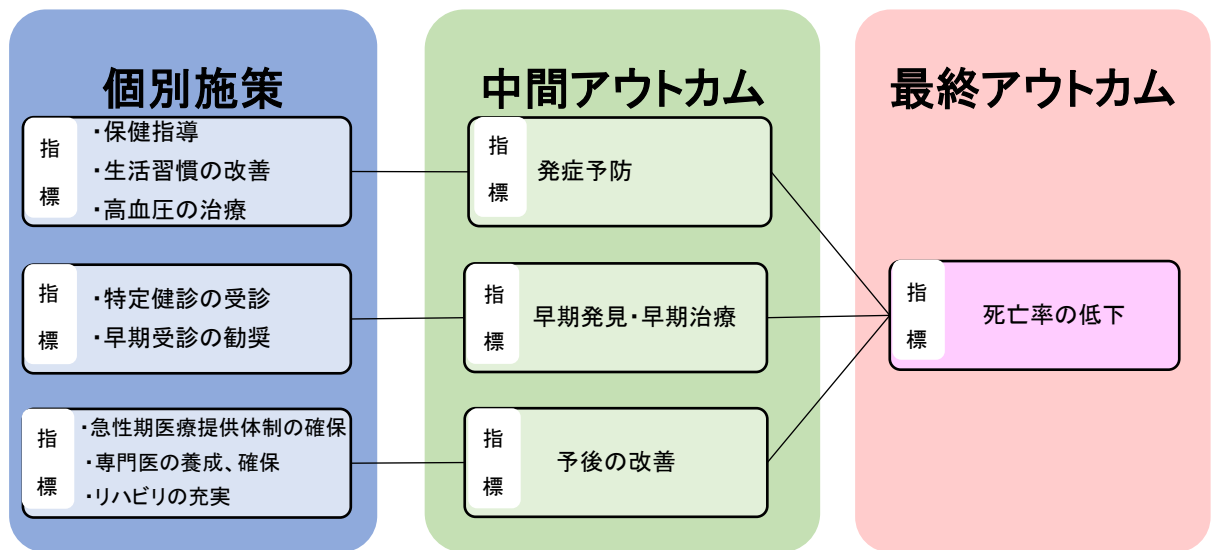


ロジックモデルと指標について

1 ロジックモデルとは

計画の目標である長期成果（最終アウトカム）を設定した上で、それを達成するために必要となる中間成果（中間アウトカム）を設定し、当該中間成果を達成するために必要な個別施策を設定する等、計画が目標を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したもの。（「都道府県循環器病対策推進計画の策定に係る指針」令和2年10月29日厚生労働省健康局がん・疾病対策課長通知）

【ロジックモデルのイメージ図】



2 関連通知等（抄）

- (1) 「第8次医療計画等に関する意見のとりまとめ」（厚生労働省「第8次医療計画等に関する検討会」）
 - ・ 地域の現状や課題に即した施策の検討においてロジックモデル等のツールが有用であると考えられるため、第8次医療計画において、ロジックモデル等のツールを活用できるよう指針で示すほか必要な取り組みを行うこととする。
- (2) 「医療計画について」（令和5年3月31日厚生労働省医政局長通知）
 - ・ 施策の検討及び評価の際にはロジックモデル等のツールの活用を検討する。

3 ロジックモデル導入のメリット

- 目標や指標を体系的に整理することでPDCAサイクルが強化され、計画の実効性が向上する。
- 計画の全体像や最終目標が共有され、議論が活性化する。

4 指標

最終的な成果（最終アウトカム）の達成に向け、施策や事業の進捗を管理し、評価するために設定。各指標は、アウトカム、プロセス、ストラクチャーに分類される。

基本的には、最終アウトカムに関する指標は、アウトカム指標又はプロセス指標を、中間アウトカムに関する指標はプロセス指標又はストラクチャー指標を使用することが想定される。個別施策に関する指標は、その施策の実施状況を示すものを使用する。

アウトカム指標	住民の健康状態や患者の状態を測る指標
プロセス指標	実際にサービスを提供する主体の活動や、他機関との連携体制を測る指標
ストラクチャー指標	医療サービスを提供する物的資源、人的資源及び組織体制、外部環境並びに対象となる母集団を測る指標